


	準備	導入期		手術～回復前期		1日後(月日)	2日～4日後(月日～日)
		1日前(月日)	当日(月日)	術前	術後		
達成目標	<p><入院中の服装> 前あきのパジャマ このほか「入院ご案内」を参考に準備下さい。</p> <p><禁煙について> 肺合併症を起こす原因になるので、手術前は禁煙していただくようお願い致します。</p> <p><その他> 手術時間は前日の夕方決まります。 入院後主治医からの説明の際、ご家族の同席をお願いしています。</p>	手術の必要性を理解し、手術の準備ができる。	精神的、身体的に安定した状態で手術に望むことができる。		①全身状態が安定している ②出血がない ③創痛がコントロールできる	①全身状態が安定している ②食事が摂取できる ③創痛がコントロールできる ④歩行が出来る ⑤排ガスがある	
薬剤		★持参薬があれば、看護師に提出してください。 ★夕食後にラキソベロン(下剤)を1本飲みます。		★夕方より鎮痛剤の内服が始まります。			
注射			★9時頃より点滴を行います。	★翌日朝まで持続点滴があります。	★午前中に点滴が終了します。		
処置		★手術に必要な部位の除毛(必要時)と臍処置を行います。	★下剤内服後の便が不十分な時は、浣腸を実施します。	★酸素マスク、心電図モニター・血圧計・フットポンプをつけます。	★9時から廻診があります。		
検査					★検査はその都度説明します。		
安静度			制限はありません。	★床上安静です、安定すれば歩行も可能です。	★制限はありません。歩くようにしましょう。		
食事/水分		★食事は夕食までです。 ★水分(茶・水)は24時までです。それ以降は絶飲食となります。	★絶飲食です。	★腸の動きを確認後、夕方から飲水可となります。	★朝から食事が始まります。		
留置物				★尿道カテーテルが入っています。トイレまで歩けるようになれば管を抜きます。お腹に管が入る場合もあり			
看護		★シャワー浴をしましょう。			★体を蒸したタオルで拭きます。	★シャワー浴ができます。	
観察		★手術に備え、血圧など全身の状態をチェックします。	★手術前に血圧など全身状態のチェックをします。	★麻酔の覚醒状態を観察します。血圧など全身状態や、創の状態を観察します。			
教育・説明	★主治医と麻酔科医より手術について説明があります ★看護師よりオリエンテーションを行います ★手術承諾書を提出してください。	★排尿を済ませたあと、眼鏡・時計・指輪・義歯・コンタクトをはずしてください。 ★手術中ご家族は、病室またはデイルームでお待ちください	★痛みのあるときや、眠れないときはお知らせください		★退院後の生活、下痢がある場合は脂肪の多い食事を控えるようにし、徐々に摂取量を増やしていくようにしましょう。★退院後、外来で抜糸(抜鉤)を行なう場合もあります。退院前に次回受診日をお知らせします。		

※患者様の状態によって変更する場合がありますのでご了承下さい
 ※手術当日のパジャマはフリース素材禁止です。寝衣のレンタルもあります。
 ※腹帯購入をお願いする場合があります。
 ※入れ歯、ジェルネイル、カツラ、アクセサリ、コンタクトは手術当日、処置等で必要な際は取り外しをお願いします。また入院中のお化粧品もご遠慮下さい。

|